

お客様の安全を第一に 安全対策を強化



● コスモ石油特約店 湊商事株式会社 仙台支店
カーケアステーション 石巻東

かつしか
所長 勝然 良一

● 東日本大震災発生、その時

震災の日には通常通りに営業をしていました。何かにつまらなければ立ってられないほどの強い揺れで、テーブルの下に隠れることさえできませんでした。それは初めての経験でした。

すぐにアルバイトたちを帰しました。停電により営業不能になっており、ラジオからは津波警報が流れていました。残った従業員で閉店作業をしていると、ひとりが「来たー」と叫びました。見ると、防波堤がなくなって、真っ黒い壁が松林をザーと動かしていました。「駄目だー逃げろー!」と言って走って逃げました。水は、逃げ込んだ5階建てのマンションの2階まできました。さらに上まで水がきていたら、私たちも助からなかったかもしれません。

● がれきのなかで復興の第一歩

震災発生の翌朝、夜明けとともに戻ってみると、もう何もありません。建屋の骨組みだけ。あとはすべてが流されていました。この場所でこの商売をして30年以上ですが、私は途方に暮れました。それでもお客様の営業再開を望む声もあり、5月には、がれきが残った状態のまま、計量機1台と発電機でなんとか仮営業にこぎつけました。

翌2012年の2月1日に復旧工事がはじまり、2ヵ月後に完全復旧となりました。もちろん、地震・津波対策を講じました。発電機、防水の計量機を備え付け、カーバッテリーで作動する地下タンク直結型ポータブル計量機も用意しました。いざという時のために、衛星電話、建屋の屋上へ上がる避難はしごも設置しました。

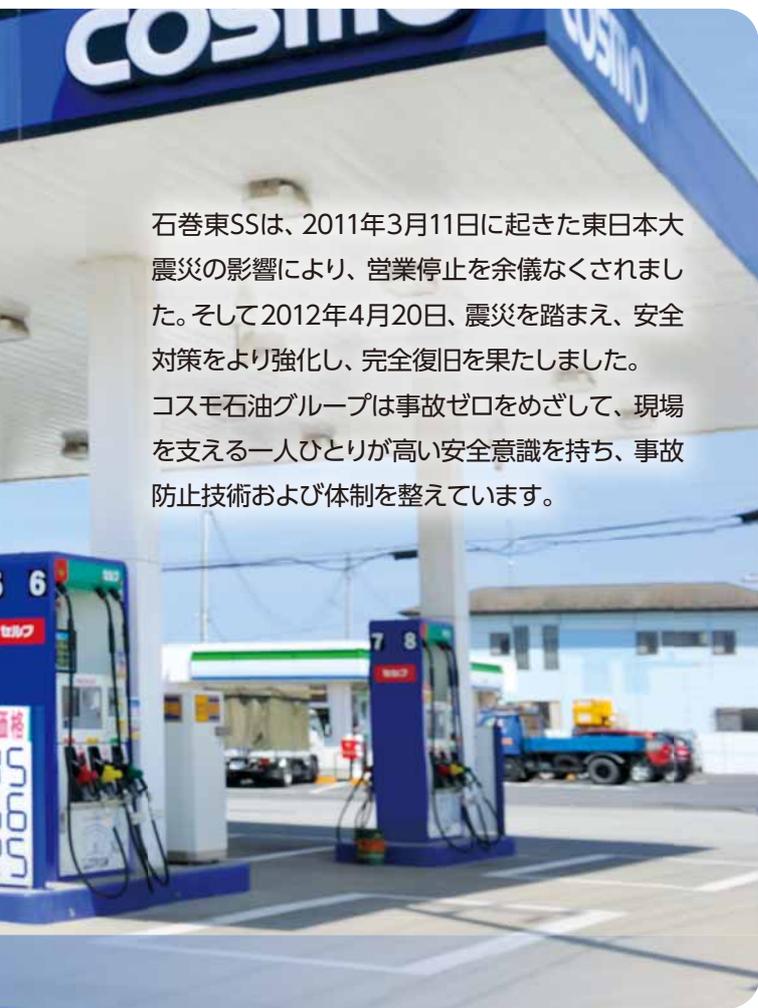


◀ 石巻東のSSスタッフ



災害対応機器を設置 左から
衛星電話 ▲
発電機 ▶
防水の計量機 ▶
屋上への避難を可能にした避難はしご ▶





石巻東SSは、2011年3月11日に起きた東日本大震災の影響により、営業停止を余儀なくされました。そして2012年4月20日、震災を踏まえ、安全対策をより強化し、完全復旧を果たしました。コスモ石油グループは事故ゼロをめざして、現場を支える一人ひとりが高い安全意識を持ち、事故防止技術および体制を整えています。

● 地元のお客様とのつながりを大切に

ここ石巻東SSは住宅地裏の地域密着型です。さらに牡鹿半島から来られるお客様もいて、情の厚い古くからの常連客が多いです。給油はセルフサービスですが、当店の売りである洗車は、今でも昔ながらのフルサービスをしています。アナログ主義で(笑)、お客様との会話も多い。

これからは、地域密着型のSSとして、さらにお客様との絆を深めていき、このエリアでなくてはならない存在にしていきたい。そして、何よりも東日本大震災の経験を忘れずに、普段から災害に備えるとともに、安全で事故のないSSにしていきたいです。それが私の役割であり、毎日の積み重ねが大切だと考えています。



SSの運営を全力でフォローアップ

石巻東SS再開までの道のり

2011 ○ 3月11日 東日本大震災発生

被害状況

キャノピー	一部損傷
建家	がれき流入
計量機	全壊
洗車機・防火塀	敷地外へ流出
サインポール	配線関係破損
土間	隆起陥没



○ 5月28日 仮営業開始

2012 ○ 2月1日 復旧工事開始

災害対応機器等の導入(新設備とその目的)

水害対応型マルチ計量機	水害による一時的な浸水後の給油継続(1基の設置)
緊急用計量機	電源喪失時における地下タンク直上からの給油継続
発電機	電源喪失時における営業継続
避難はしご	冠水時における事務所棟屋根上への避難
LED看板	低消費電力・長寿命による
LED照明	環境負荷・メンテナンスコストの低減



○ 4月20日 完全復旧
写真は現在の石巻東SS全景

震災前以上の実績をめざす

私 は3年前に仙台支社に赴任しました。販売担当としてSSの運営力強化のためのフォローをしています。石巻東SSは、地域のお客様から支持されており、さらに販売力や運営力に優れた、コスモ石油においても非常に重要なSSです。被災後には、地元のお客様が営業再開を求めて直談判に来られるほどSSの地域への密着度は高いです。それは勝然所長の人柄によるところが大きく、従業員からも厚い信頼を得ています。再開については震災の翌月からご要望をいただき、できるだけ早く動きかけたのですが、復興の遅れ、人手不足などで、本格的に着手できたのは翌年の2月でした。それまでの仮営業期間が一番大変だったと思います。今の目標は震災前以上に販売することです。そのために私も全力を注ぐつもりです。



コスモ石油株式会社
仙台支店 販売グループ

内藤 洋平 ●